

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月5日(水) 13:00～15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校大会議室
- 4 参加者

会長	西津 貴久	岐阜大学 教授	
副会長	安田 洋一郎	本郷自治会 副会長	
委員	伊在井みどり	岐阜県医師会 会長	(書面参加)
	伊藤 知子	PTA副会長	
	高木 敏彦	岐阜県教育文化財団 理事長	(書面参加)
	中村 こず枝	岐阜市保健衛生部長兼保健所長	
学校側	石田 達也	校長	
	小野寺 彰	事務部長	
	笠原 常豊	教頭	
	高田 剛	教頭	
	石川 翔太	教務部長	
	北川 英治	生徒指導部長	
	黒井 昌和	進路指導部長	

5 会議の概要(協議事項)

(1) 生徒との懇談(留学から帰国して復学した生徒3名との懇談)

意見1: 帰国後の周りの友達の反応はどうであったか。

⇒周りの友達に温かく迎え入れてくれて、留学していた国に対して興味を持ってくれた。

意見2: 自分自身が成長した姿を周りに見せていくことが、学んだことや経験を社会や周囲に還元することにつながる。

意見3: 過度な義務感を持たずに、留学で学んだことを次のステップに活かしてほしい。

意見4: 留学経験は自分を見つめ直すよい機会になった。非常によい話だったので、本校PTAや同窓会の方たちにも話してもらいたい。

意見5: 留学は非常に良い経験であると思うので、学校は生徒が海外に行く機会を提供してほしい。

(2) 今年度の取組み状況、成果と課題、来年度に向けての改善方策等について

意見1：情報モラル教育はどのように推進していくのか。

⇒情報モラル教育は、「日常モラルの育成」と「情報技術の特性の理解」を組み合わせ
て繰り返し指導している。新入生に対するガイダンス、情報モラル講話のほか、担任
等による日常的なモラル指導も重視している。

意見2：社会的な問題を取り上げ、生徒が社会に対して貢献できることを考える機会をつくって
ほしい。

意見3：主権者教育について、自分の意見を持ち、それを他者に伝えられるような生徒を育てて
ほしい。

意見4：将来の進路に向けての学びだけでなく、がん教育やプレコンセプションケアについても
取り上げるなど、自身の健康を学ぶ機会をつくり、バランスの良い生徒を育成してほし
い。

意見5：金融教育・消費者教育について、教員だけでなく、様々な立場の外部講師の力も借りな
がら実施してほしい。

意見6：取組みの達成状況を判断するため、KPI（重要業績評価指数）など数値目標の設定も
検討してほしい。

意見7：岐阜高校は風通しの良い職場である。仕事の効率も良く、生徒に対してもプラスになっ
ている。

(3) スクール・ミッション（修正案）について

意見1：修正案を承認する。

6 会議のまとめ

- ・留学を経験した生徒との懇談は、委員に非常に好評であった。
- ・今年度の取組みについて多くの意見や助言を得た。これを踏まえ、次年度の学校運営に反映させる
ことを確認した。
- ・スクール・ミッション（修正案）について承認を得た。